

プロローグ 2
目次 8

第 1 章

マスクはなぜツイッター社の 買収から手を引いたのか

マスクは偽アカウント比率に虚偽があると疑念を抱いた 22
ツイッター社買収はマスクの「大いなる不満」からはじまった 25
「ネット空間の言論の自由を守る」という大義名分で買収を提案 27
マスクとツイッター社の企業文化があまりに違い過ぎた 30
「ものづくり」が好きで、「企業文化を重んじる」マスクには賢明な撤回 32

第 2 章

マスクがウクライナを救った スターリンクとは何か

電源だけで通信衛星と接続するインターネットサービス 36
スターリンクは時に国際情勢を左右する力を持つ 40
小型通信衛星4000基の打ち上げで世界中でネットが可能に 42
「車とインターネットをつなぐ」革命でマスクは圧倒的に有利に 46

第 3 章

マスクはなぜ

テレワークを否定するのか

偉大な製品は、テレワークでは生まれません 50

「偶然の出会い」「何気ない会話」からイノベーションは生まれる 53

「世界を救う」ためにハードワークをもっともれない才能が集まる 57

「仕事の意味」「仕事のインパクト」がチームの成果を上げる 59

「世界を救う」には、テレワークでは不可能だ 61

第 4 章

マスクに見えている

「地球の未来」とは

マスクの「日本消滅」は統計データが証明している 64

日本では予測を上回るスピードで少子化が進んでいる 69

日本の人口減少は「既に起こった未来」である 73

「エネルギー問題の深刻さ」がマスクを突き動かした 75

50年先を「まだ先のこと」と見るか「すぐに行動すべき」と考えるか 78

確実にやってくる危機には早くから対処するのがマスクの流儀 80

持続可能エネルギー社会の実現と、火星へ移住できる道を準備 82

第 5 章

マスクは本気で

火星に移住するつもりなのか

設立6年でロケットの打ち上げに成功。NASAと巨額契約
スペースXは、事故や故障の原因究明の速さと修正力がすごい 86
国産化・内製化・再使用で圧倒的な低コストを実現 93
100人乗りの有人宇宙船を火星に送り込む構想がスタート 98
「現代版のノアの方舟」のプロジェクトに取り組むワケ 101
火星移住への道筋をつけることがマスクの至上命題 103

第 6 章

マスクはテスラで世界の

自動車市場を席卷できるのか

地球温暖化や資源枯渇の危機感から電気自動車の開発をスタート 106
まず最初にやることは「実際に動く試作品をつくること」 108
テスラ「秘密のマスタープラン」で電気自動車市場に参入 110
超高級スポーツカーを完成、自動車業界に革命を起こす 114
国家的な事業で革命を起こし電気自動車の時代の寵児となる 118
車の世界を激変させる「CASE」とは 122
2030年までに年間2000万台を生産する野望 132
「電気自動車の世界」は確実に訪れる。「2030年」が最初の節目 135

第7章

知っているようで知らない

マスクの半生とは

- ファンタジーやSF小説好きが「世界を救う」思想につながった
初めての起業「Zip2」は弟と借金を抱えての挑戦だった 143 138
- 「ペイパル」CEO時代の休暇中の解任劇がマスクのトラウマに
人類滅亡の危機に人々を火星に運ぶにはロケット開発が不可欠 145
- 手にした大金を「人類の未来に最も影響を及ぼす」ことに使う 148
- 「SFのような奇跡」を起こせるマスクの原動力とは 150 152

第8章

マスクはなぜ

世界一のCEOと呼ばれるのか

- イーロン・マスクが起こした「奇跡」とは？ 156
- スペースXが創業18年で宇宙開発の歴史を変えた
テスラによって「電気自動車の時代」を切り開く 158 161
- 奇跡を起こす仕事力1 壮大過ぎるほどのビジョンを掲げる 163
- ビジョン1 難解な物理学の概念を現実のビジネスプランに落とし込む 166
- ビジョン2 世界の未来にとって重要であり
自分自身の努力で変えられるものに挑む 168

- 奇跡を起こす仕事力2** ビジョンを達成するための
現実的なマスタープランを立てる 170
- マスタープラン1―「マスタープラン」で目標を明確化する 172
- マスタープラン2―資金と技術、生産体制を構築し時期を見て価格帯を下げていく
- マスタープラン3―マスタープランを1つずつクリアして、
大きな目標に到達する 175
- 奇跡を起こす仕事力3** 人前での失敗を恐れず、
失敗したら原因を調べてすぐに改善する 178
- 失敗からの修復力1―大切なのは事故や故障を恥と思わず、
問題を解決して次へ進む開発姿勢 181
- 失敗からの修復力2―失敗はイノベーションと発明の本質。
失敗を乗り越えてこそ奇跡を起こせる 183
- 奇跡を起こす仕事力4** 成功するまで決して諦めない 185
- 成功するまで諦めない1―世界を救う事業なら開発の難航や資金難でも、突き進め
成功するまで諦めない2―意気消沈する社員は前に進ませるために励まし続ける 190
- 奇跡を起こす仕事力5** アイデアを形にする圧倒的な「ものづくり」の力 192
- ものづくり1―一流の相手と組み、世界最高の製品をつくるという哲学 195
- ものづくり2―これまでなかった車を実現させるこだわりで「本気」を引き出す 197
- 奇跡を起こす仕事力6** ともに歩むすぐれた才能の集中とリーダーの率先垂範 201
- 人を動かす1―本物の「才能の集中」だけが大きな成果を可能にしてくれる 204
- 人を動かす2―ビジョンを示し、ハードワークをもとめない
若き才能を集める 206
- 人を動かす3―リーダーはハードワーカーで、率先して解決にあたる 209
- 人を動かす4―従業員の妻やパートナーたちも物語の一部にしながら働く 212

マスクの戦略と

マスクを支える思考法

都市交通問題を解決するため近未来の移動手段「ループ」を開発中 216

「ハイパーループ」で高速鉄道システムに革命を起こす 218

脳インプラントをネット接続して人間の潜在能力を開花させる 220

資質や能力に合った「教育」で子どもたちの可能性を引き出す 222

マスクを支える思考法

「世界が抱える課題解決」で世界を救い、

人類を救いたい 225

思考法 1 「人生は短い。そう考えたら懸命に働くしかない」 226

思考法 2 「ずっと同じものの見方をしていては、

いつまで経っても変わりませんよ」 228

思考法 3 「恐れは理にかなったものとして、無視する。

理にかなっていても、前に進むのが遅くなるから」 230

思考法 4 「いいところを聞くのも嬉しいことです、

批判の声に耳を傾けるほうが大事です」 232

思考法 5 「『私たちは世界に役立つことをしている』。

それが一番大事で、それこそが私のモットーです」 234

「イーロン・マスク」年表 236

エピソード 240